

薄着の季節になる前に改善したい、大人の肌トラブル 実は悩む人が多い“ポツポツ”の正体とは？

～お悩みの20～40代女性の8割が、肌のポツポツに“いぼの可能性”があることを知らない？調査で明らかに～

主なトピックス

1. 20代～40代女性の約2人に1人が悩むお肌の“ポツポツ”／特に「顔周り」が最も気になる結果に
2. 悩んでいる人の約8割が知らない、“ポツポツ”が「いぼ」の可能性
3. 「ターンオーバー＝1カ月」は20代だけ？年齢と共に長くなる肌代謝サイクルは“ヨクイニン”で対策
4. クラシエ薬品の「いぼ」に おすすめの漢方薬・生薬製剤

漢方薬を中心とした一般用医薬品と医療用医薬品を販売するクラシエ薬品株式会社では、20代～40代の女性600人を対象に「大人の肌トラブル」に関する意識調査（※1）を実施しました。

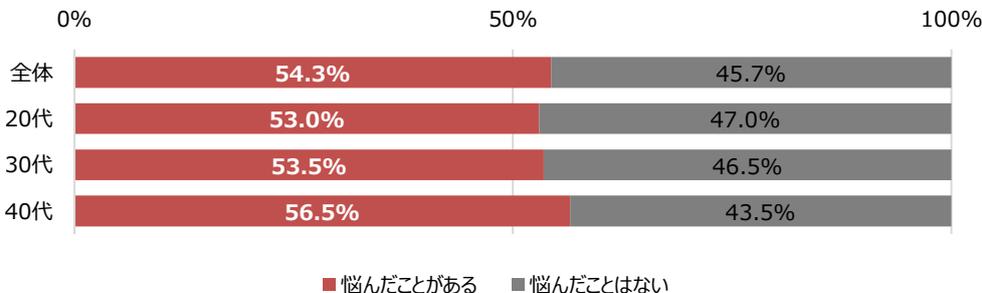
気象庁の3か月予報（※2）によると、3月・4月は全国的に気温が高く、例年よりも半袖やノースリーブなど夏服の時期が早まることが予想されます。こうした薄着の季節を前に、顔や体にできる“ポツポツ”としたお肌のトラブルに悩む方が増えるのではないのでしょうか。今回は“ポツポツ”の正体である「いぼ」に関する意識調査の結果とともに、「いぼ」の正しいケア方法をご紹介します。

20代～40代女性の約2人に1人が悩むお肌の“ポツポツ”／特に「顔周り」が最も気になる結果に

はじめに、顔や体にできる“ポツポツ”について悩んだことがあるか尋ねたところ、**20代～40代女性の約2人に1人が「悩んだことがある」と回答**しました。年代別では40代が最も高い傾向にありますが、全年代で50%を超えており、若年層にとっても身近な肌トラブルの一つであることが浮き彫りとなっています。また、“ポツポツ”について「悩んだことがある」人が回答した**気になる部位については、「顔（全体）」が61.9%と圧倒的に最も多く**、次いで背中、二の腕と続くことが分かりました。

Q. 顔や体にできる「ポツポツ（ブツブツ）」について悩んだことはありますか？（各年代 n=200）（単数回答）

Q. 「ポツポツ（ブツブツ）」ができたことがある箇所について、下記選択肢よりすべて選んでください（n=326）（複数回答）

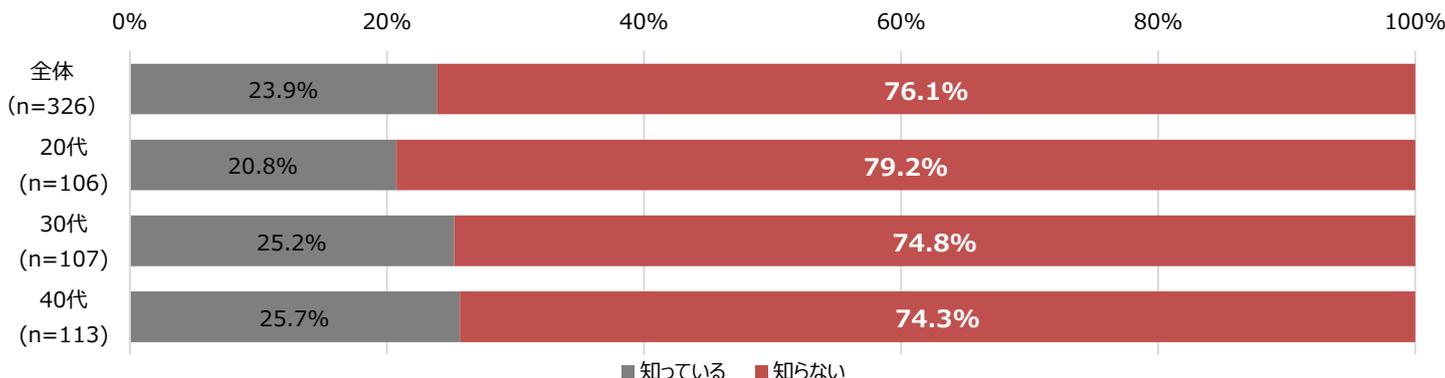


順位	部位	%
1	顔（全体）	61.9
2	背中	35.3
3	二の腕	30.1
4	顔（目の周り）	27.9
5	首	26.4

悩んでいる人の約8割が知らない、“ポツポツ”が「いぼ」の可能性

続いて、前項で「悩んだことがある」と回答した人にお肌にできる“ポツポツ”の正体が「いぼ」であるかを知っていたかと尋ねたところ、「知らない」と答えた方は76.1%に達しました。**約8割の方が、自身の肌トラブルが「いぼ」であると認識しておらず、そのために適切な対処法に結びついていない可能性**が考えられます。

Q. 顔や体にできる「ポツポツ（ブツブツ）」が「いぼ」だと知っていましたか。（悩んだことがある方のみ聴取 n=326）

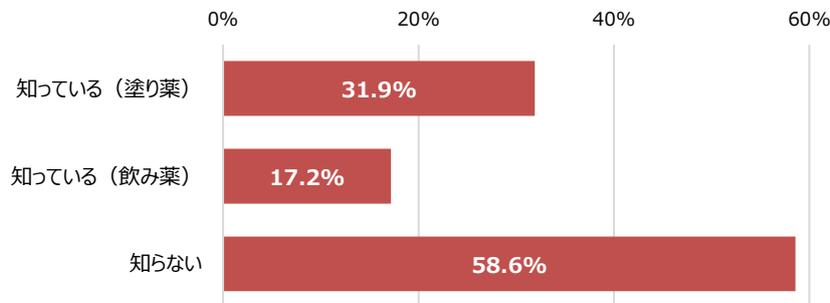


約6割が「いぼ」に効く市販薬の存在を知らないが、セルフケアの潜在的ニーズが明らかに

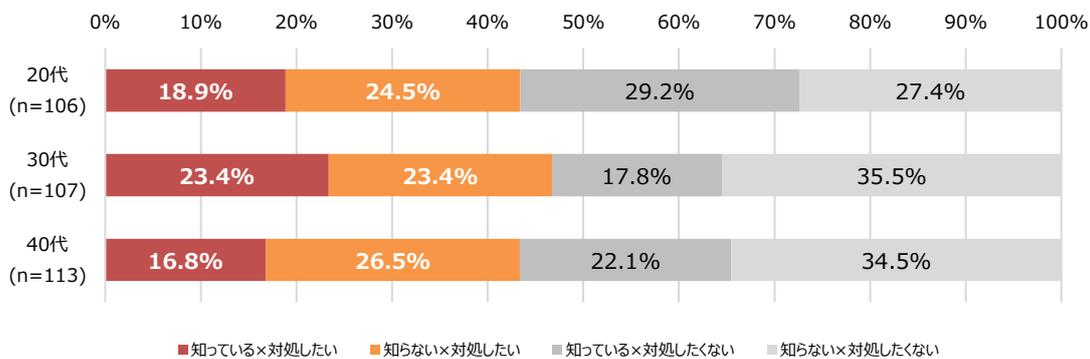
“ポツポツ”について「悩んだことがある」と回答した人に「いぼ」に効く市販薬（ドラッグストアなどで購入できる医薬品）があることを知っているか尋ねたところ、市販薬の存在を「知らない」と答えた人は58.6%にのぼりました。また、塗り薬の認知度（31.9%）に比べて内服薬（飲み薬）は17.2%と塗り薬の認知度のおよそ半分に留まっており、内服による「いぼ」ケアへの認知向上の余地があることがうかがえます。

さらに、「いぼ」に効く市販薬の購入意向については、全世代において4割以上の方が「対処したい」と回答しました。特に、**市販薬の存在を知らなかった層のうち、2割以上が「対処したい」と前向きな意向を示しており、一定数の人がセルフケアへの関心を持っていることが明らかになりました。**

Q. 「いぼ」に効く市販薬（ドラッグストアなどで購入できる医薬品）があることを知っていますか？ 下記選択肢よりすべてお選びください。（n=326）（複数回答可）



Q. 「いぼ」に効く市販薬について、購入し対処したいと思いますか（n=326）（単数回答）



※1 ○調査対象：全国の20代～40代の女性600名（有効回答数） ○調査期間：2026年2月9日～2月10日
○調査方法：インターネットアンケート/クランエ調べ（クロス・マーケティング QiQUMOを利用した調査）
※2 出典：気象庁, 3か月予報（2026年2月24日発表）の解説 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?term=P3M>)

「ターンオーバー＝1カ月」は20代だけ？ 年齢と共に長くなる肌代謝サイクルは“ヨクイニン”で対策

一般的に、ターンオーバー（肌の生まれ変わり）は約28日と言われますが、これはあくまでも健康な20代の方の目安です。年齢とともにこの周期は長くなり、30代以降は肌トラブルが改善するまでの目安も年齢に比例して長くなります。そのため、気温上昇で薄着になる時期に向けて、早めの対策を心がけましょう。

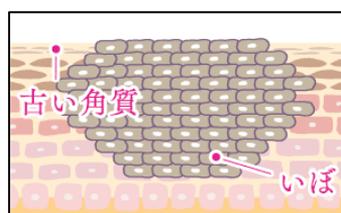
<ターンオーバーを整え、角質いぼに効果のある“ヨクイニン”という選択肢>

「いぼ」は、肌代謝が滞り、うまくターンオーバーができずに、古い角質が肌表面に残っている状態です。

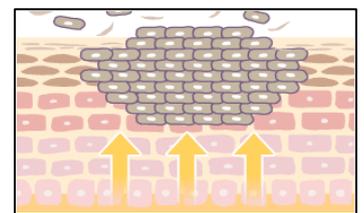
“ヨクイニン”は、ハトムギの皮をむいた種子を原料とした植物由来の生薬で、肌への栄養補給や水分代謝を促したり、排膿・抗炎症作用などがあります。長くなってしまったターンオーバー周期を正常化させることで、いぼや肌あれをからだの中から改善します。



① 正常な肌は約28日周期で生まれ変わる



② 肌に残った古い角質がいぼの原因に

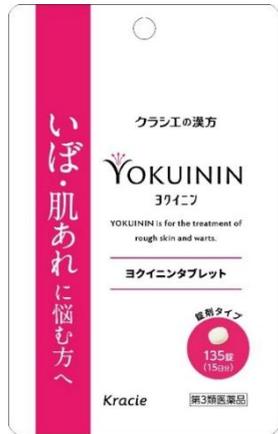


③ ヨクイニンが肌のターンオーバーを正常化し、いぼを排出

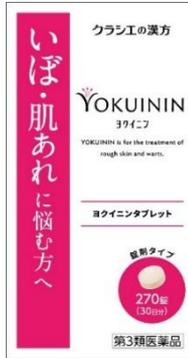
クラシエ薬品の「いぼ」におすすめの漢方薬・生薬製剤

「いぼ治療＝塗り薬」というイメージが強いですが、実は飲み薬の市販薬も存在します。**飲み薬であれば、目の周りなど“塗布しにくい部位”にも対応が可能**というメリットもあります。

新ヨクイニンタブレットクラシエ



【お試しサイズ】
135錠／15日分



【大容量サイズ】
270錠／30日分

ハトムギを原料とする「ヨクイニン」は、ハトムギ（イネ科）の皮をむいた種子が原料で、植物由来の生薬です。肌への栄養補給や水分代謝を促す作用、排膿・抗炎症作用などがあります。ヨクイニンエキスを配合した「新ヨクイニンタブレットクラシエ」は、肌トラブルへの効能・効果が認められており、ウイルス性の「いぼ」に対して有効です。いぼは、肌代謝が滞り、うまくターンオーバーができずに、古い角質が肌表面に残っている状態です。ヨクイニンは、ターンオーバーを正常化させることで、いぼや肌あれをからだの中から改善します。

商品名：新ヨクイニンタブレットクラシエ

【第3類医薬品】

■【左・お試しサイズ】135錠/15日分 希望小売価格：2,530円（税込）

■【右・大容量サイズ】270錠/30日分 希望小売価格：4,840円（税込）

効能：いぼ、皮膚のあれ

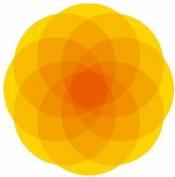
◆脂漏性角化症について

「ヨクイニン」が有効なウイルス性の「いぼ」は、加齢に伴う脂漏性角化症（老人性いぼ）とは異なります。

加齢に伴う脂漏性角化症（老人性いぼ）の場合は、医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください。

（老人性いぼとウイルス性いぼの違い ▶ <https://www.kracie.co.jp/ph/yokuinin/wart/column02.html>）

クラシエ薬品について



日本を生きるあなたへ。

クラシエの漢方

クラシエ薬品は漢方のプロフェッショナルとして、半世紀以上にわたり日本に暮らす人々の健康で豊かな暮らしをサポートしてきました。漢方薬を中心に一般用医薬品から医療用医薬品まで自社一貫体制の下で幅広く提供しています。

近年、健康の価値や暮らしのあり方が大きく変化している社会の状況を受けて、クラシエ薬品は漢方事業における医療用分野と一般用分野の連携を強め、「クラシエの漢方」として事業一体で漢方薬を通じた健康価値の提供を高めていくことに挑戦していきます。

漢方を通じて、日本に暮らす人々が自らの健康を総合的に見つけ、理想とする健康的な暮らしをつくることをサポートしていきます。